

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	第4アスベ				公表日	令和7年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	必要に応じた机やラック等の配置の変更。	整理整頓を徹底していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		今後も現状を継続する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	予定表やイラストでわかりやすく掲示したり、活動スペースをしっかりと確認している。	物の配置等、再検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		時間を見つけて、より清掃、整理整頓を徹底していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	療育室の利用や部屋の変更を行っている。	どの職員でも、子どもと利用していけるよう努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	ミーティングの雰囲気づくりや、業務連絡ノートを活用する事で、職員が参画できるようにしている。	その場に居なかった職員への伝達方法やフィードバック等。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	ミーティング時に話し合っている。	その場に居なかった職員への伝達方法やフィードバック等。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	ミーティング時に話し合いの場を設けている。	その場に居なかった職員への伝達やフィードバック等。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	現在は行っていない。	要望があれば今後、外部評価の活用を検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	法人内での研修は、積極的に参加できるようにしている。	外部からの研修も参加していけるよう、検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	5領域を踏まえたプログラムを立案し、サニーサイドで公表している。	個々に合わせたプログラムも工夫していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	面談前後で支援に関する話し合いを行っている。	その場に居なかった職員への伝達方法を検討する。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	面談前後で支援に関する話し合いを行っている。	その場に居なかった職員への伝達方法を検討する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		その場に居なかった職員への伝達方法を検討する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	プログラムの立案を、色々な職員が行う事で、様々な内容ができるよう心がけている。	話し合いをする場を設けていく。

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	日々、カリキュラムを立てる職員を変更し、様々なレクリエーションを提供できるようにしている。	話し合いをする場を設けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	提供できるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	3	業務連絡ノートを活用している。	今よりさらに細かく記録していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		今後必要に応じて検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	現在は行っていない。	今後必要に応じて検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37	放課後等デイサービス提供を依頼する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		今後も現状を継続する。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		今後も現状を継続する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第4アスペ		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 9日		～ 2024年 8月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2024年 8月 9日		～ 2024年 8月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性等に応じた専門性のある支援。	集団での活動以外にも個別での療育も行っており、専門職と連携しながら支援している。	日々、カリキュラムを見直しながら、利用者の特性を職員全員が把握し、専門職にも相談しながら支援にあたっていく。
2	様々なカリキュラムを毎日実施している。	楽しみながら、苦手な事にも取り組めるようカリキュラムを組んでいる。	集団だけでなく、個々での療育もすすめていけるよう、時間の調整やグループ分けを行っていく。
3	建物内に児童発達支援があり、交流する機会を持つ事ができる。	様々な年齢の利用者と関わる機会を設けている。	日々の生活の中で、円滑な人間関係が築けるよう、交流する機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族支援プログラム等、家族への支援。	開催の手紙は配布しているが、日程やニーズ等のリサーチ不足。口頭での伝達も必要だったのでは。	どのような事をしていきたいのかを事前にリサーチしたり、口頭での開催の伝達も行っていく。
2			
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 第4アスベ

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童

数 22

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			1		建物の見取り図等を掲示し、口頭で再度お伝えしていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15		1	1	十分だと思う。	適切な人数が配置されている事を伝えと共に、職員も余裕を持って対応できるよう心がける。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				とてもきれいで広々としていた。	今後も現状を継続する。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1	8	3	その様な交流は特に望んでいない。	まずは、送迎時に支援についてや、施設、学校での取り組みについて意見交換していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					今後も現状を継続する。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					今後も現状を継続する。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1			4	施設での保護者会を開催し、意見や情報の交換の場を増やしていく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				1	面談だけでなく、その都度、保護者の不安や要望を聞ける体制を整える。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				1	保護者のニーズを職員全体で把握し、保護者会の中で取り組んでいけるように検討していく。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3			6	保護者会は設けているが、きょうだいの交流は無いと思う。利用者だけでなく、家族の困り事についても、その都度話し合える環境を整える。	

保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			3		契約時や面談時に説明すると共に、申し入れがあった際は、職員間で話し合い迅速に解決していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18					今後も現状を継続する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18					今後も現状を継続する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18					今後も現状を継続する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18					今後も現状を継続する。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					今後も現状を継続する。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18					今後も現状を継続する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					今後も現状を継続する。